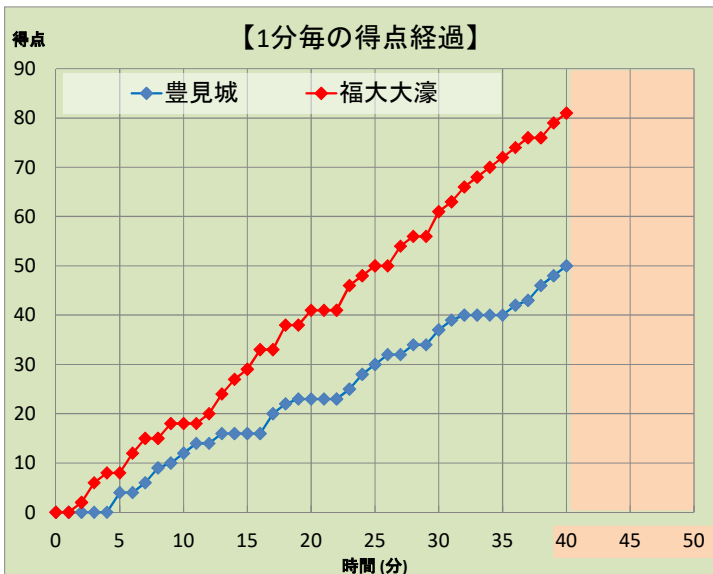


## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 10:30	
コート	Bコート	第2試合
カテゴリー	男子	準決勝
主審	山口 勝真	
第1副審	金岩 貴之	
第2副審	野田 宏樹	

TEAM A			TEAM B		
豊見城	50		81	福大大濠	
沖縄1位				福岡2位	
●				○	

12 1st 18

11 2nd 23

14 3rd 20

13 4th 20

OT

### 【BOXスコア】

TEAM A		豊見城高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	比嘉 颯人	0				
5	渡久地 政睦	○	11	4	3	2
6	伊良部 龍侍		0			
7	赤嶺 有奎	◎	9	1	3	3
8	喜納 秀雅		0			1
9	長濱 凌		6	2	2	3
10	桃原 奨		5	1	3	1
11	嘉敷 啓希	○	12	5	2	2
12	新垣 隆太		0			
13	元長 亮介	○	0			1
14	登川 莉玖士		0			
15	諸見田 敬介	○	7	1	2	2
16	伊敷 鉦太郎		0			
17	赤嶺 敬将		0			
18	知念 拓己		0			
コーチ	嘉陽 宗紀					
合計		50	2	17	10	15

TEAM B		福大大濠高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	西田 公陽	◎	6	3		2
5	高木 寛大		8	4		2
6	田邊 太一	○	5	2	1	1
7	間山 柁	○	10	4	2	1
8	木林 優	○	7	2	1	3
9	西田 陽成		0			
10	平松 克樹		9	1	2	2
11	杉 涉夢		0			1
12	山際 爽吾		2	1		
13	原田 大和		3	1	1	1
14	横地 聖真	○	22	3	6	1
15	岩橋 史門		2	1		2
16	廣政 遼馬		4	2		1
17	大浦 禅次郎		3	1		
18	渡辺 康太		0			
コーチ	片峯 聡太					
合計		81	7	26	8	17

### 【戦評】

全九州大会準決勝、沖縄県1位豊見城対福岡県2位福大大濠との対戦、スターティングメンバーは豊見城#5、#7、#11、#13、#15、福大大濠#4、#6、#7、#8、#14で試合開始。第1Q、両チーム無得点の状態が続くなか、先に均衡を破ったのは福大大濠。#14のアシストから#7が3連続得点。豊見城は#5がドライブで積極的にアタックするも相手の高さに阻まれる。福大大濠#14がさらに得点を追加し、0-8となったところで豊見城がタイムアウト。その後は#15、#7の3ptsなどで大濠の高さに対抗していき、12-18の福大大濠6点リードで第1Qを終えた。第2Q、豊見城はスクリーンから活路を見出そうとするが相手の高さを打ち崩すことができない。その間も福大大濠は#14が味方の得点を演出しながら自らも次々にシュートを決める。残り時間5分となったところで豊見城タイムアウト、流れを止めようと試みるが、直後に大濠は#10のドライブに#4が絶妙なタイミングで合わせ、さらに勢いづく。豊見城もフリースローやアウトオブバウンズからのスクリーンプレイなどで得点するが、福大大濠がリードを広げ、23-41で前半が終了した。第3Q、豊見城が#7のドライブや#10のバスケットカウントワンスローなどで得点すれば、福大大濠は#14がこのゲーム早くも20点目となる3ptsを決めるなど見ごたえある展開に。豊見城がオールコート1-2-2で相手のミスを誘うが、福大大濠も素早いボール運びで即座に対応する。ゲームは大濠のペースで進み、37-61で第3Qを終了した。第4Qはお互いにマンツーマンでスタート。残り6分で福大大濠は#12、#16がコートへ。直後に#16がフックシュート、#12が鋭いドライブで得点する。対する豊見城も#7が相手長身選手2枚のブロックをかわしレイアップを決める。最後は主力を下げ、ベンチメンバーも出場した福大大濠が50-81で勝利した。福大大濠の高さに果敢に挑み続けた豊見城の健闘も称えたい。

【戦評記者】 飯田 啓介  
福岡県バスケットボール協会